

アルソフト 手指消毒ローションの 新型コロナウイルスに対する有効性について

アルソフト 手指消毒ローション(販売名:アルソフトW)は、
新型コロナウイルスに対する効果について試験し、

検出限界以下(99.99%)に減少させることを確認しました

■ 試験方法

アルソフト 手指消毒ローションの原液、負荷物質、ウイルス液を8:1:1の割合で混合し、15秒間作用させた後、反応停止液で作用を停止し、段階希釈した¹⁾。この希釈液を、VeroE6/TMPRSS2細胞に接種し、CO₂インキュベーターで培養した。培養後、ウイルス感染の有無を観察し、ウイルス感染価(TCID₅₀)を算出した。

使用ウイルス(宿主細胞)	新型コロナウイルスSARS-CoV-2(Vero E6 / TMPRSS2細胞)
試験条件	コントロール:薬剤作用なし(人工硬水) 作用時間:15秒 作用温度:20±1℃
負荷物質	0.3%ウシ血清アルブミン
培養条件	5%CO ₂ 、37±1℃、3日間

結果

アルソフト 手指消毒ローションの新型コロナウイルス不活化試験の結果を表1に示した。

表1 アルコール手指消毒剤の新型コロナウイルスに対する不活化効果

製剤名	初期ウイルス感染価 (TCID ₅₀ /mL)	作用時間	ウイルス感染価(n=2)	
			対数減少値	減少率(%)
アルソフト 手指消毒用ローション	1.5×10 ⁶	15秒	>4.38	>99.99

結論

アルソフト 手指消毒ローションはサスペンション試験において、新型コロナウイルスのTCID₅₀を検出限界以下(4.00 Log₁₀以上)に減少させたことから、アルソフト 手指消毒ローションは新型コロナウイルスに対する不活化効果が期待される。

参考文献

1)NBN EN14476:2013+A2:2019

Chemical disinfectants and antiseptics-Quantitative suspension test for the evaluation of virucidal activity in the medical area- Test method and requirements (Phase 2 / Step 1)

出典

外部機関取得データ:「アルコール手指消毒剤:新型コロナウイルス不活化試験」